

令和5(2023)年度 第1回柏崎市障害者福祉推進会議 議事録

1 日時 令和5(2023)年7月28日(金) 午後3時から午後4時40分まで

2 会場 柏崎市役所 多目的室1・2

3 出席者

(出席委員)

阿部亮委員、荒城裕子委員、片岡健司委員、金子正美委員、金塚敬子委員、木明香子委員、黒木宏一委員、小林俊介委員、小林俊明委員、高橋恵子委員、高橋壽一委員、竹井裕美子委員、田辺隆男委員、富川明裕委員、本多満理子委員、村山智委員、持田千恵子委員、吉野孝也委員

(欠席委員)

小池和美委員、春川麻里委員

(オブザーバー)

新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部地域福祉課 金子弘課長

(事務局 福祉課)

山崎部長(欠席)、村田課長、早川課長代理、荒川係長、今井係長、佐藤係長、千原主査

4 会議概要

(1) 開会

(2) 議事

- ① 第五次柏崎市障がい者計画の事業取組状況について【資料1～3】
- ② 第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の評価について【資料4・5】
- ③ 第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画策定に向けたスケジュール・アンケート・ワークショップについて(現状分析結果報告)【資料6・7】
- ④ 第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画骨子案について【資料8・9】

(3) 閉会

5 議事の内容

【①に関する質疑等】

委員	<p>●No. 63 (障がい者雇用の理解促進) について</p> <p>入札参加資格登録者の655者(柏崎市外の登録者含む)のうち、147者(約22%)が法定雇用率を達成している。柏崎市内の建設関係業者については、法定雇用率を達成できない、雇用していない、そもそも算定の対象でない業者も多くある中、この22%の業者が入札を行い、かつ受発注がなされているのであれば、雇用の事例を見せていただきたい、また市内で展開できると良いと考える。</p> <p>そして、柏崎市では、もにす認定を取得してもインセンティブがないことから、積極的に取得する企業が少ない。市独自でも良いので、もにす認定を取得することによって、公共入札に対するインセンティブや、そ</p>
----	---

の他市独自の施策があると、もにす認定取得に向けた動機付けとなるのではないか。

(株) With Youで受託している障がい者活躍推進事業の中でも、今年度、もにす認定を取得した柏崎市内の企業（永井コンクリート）の事例等を取り上げたシンポジウムを開催しようと考えている。多くの方に事例を聞いてもらい、入札案件と併せて周知できると良い。

●No. 6 9（障害者優先調達推進法の積極的な取組）について

評価4となっているため、実績が上がっているのだと思われるが、優先調達の仕事内容、役務や調達物品については数年に渡り代わり映えがない。障がい者雇用の法定雇用率が上がっている中、罰金対象にならない中小企業に関しては、法定雇用率が上がることよりも、昨今の最低賃金が上がることのほうが厳しく、そのような中では、残念ながら障がい者を雇用しようという企業は増えないのではないか。それでは、どのように工賃を上げていくのか、ディーセントワークを実現し、就労の力を高めていくためには、この優先調達で下りてくる仕事は非常に重要である。年に一度、事業者が優先調達に係る営業品目を福祉課へ提出しているが、単にエクセルに入力したものを提出するかたちではなく、プロポーザルを行うようなかたちで実際にプレゼンテーションができるとう良いのではないか。

また、シートには「契約検査課が行っている単価契約の情報を共有し、必要に応じて…」との記載があるが、以前、契約検査課へ見積書を出した際に、東京の大手の印刷業者と比較されたことがあった。地方であることを言い訳にはしたくないが、都心の大手企業と比較されると勝ち目はない。価格が重要であることは理解できるが、優先調達するという心意気をもう少し出していただき、障がい者の「雇用」の部分だけでなく、実際の発注に関しても優先的な調達に、より取り組んでもらえるとありがたい。事業者側が優先調達の対象になり得る業務に積極的に着手できるよう、市は、新しい営業品目や役務について目を向けてもらうこと、事業者側は、市からの発注が工賃へ還元していること等のエビデンスを提出することで、市・事業者双方に利点があるようにしていきたい。

事務局

●No. 6 5（障がい者の職員採用）について

1点目の雇用事例の紹介については、いただいたご意見を担当課に伝えていきたい。

また、もにす認定についても、新たなインセンティブを設ける等で、もにす認定自体の周知の一助になると良いと考えるが、可能か否かは担当課と検討していきたい。

●No. 6 9（障害者優先調達推進法の積極的な取組）について

ご指摘のとおり、各事業所から提出いただく営業品目等については、文

	<p>字だけの表記であることから確かに見にくいと感じる。特に役務については、わかりづらい部分である。今後は、事業所における授産品や特産品、名物のようなものを、視覚的にわかりやすいかたちで表記できるよう工夫していきたい。市役所庁内の各課についても、想像がつかないと発注のしようがないかと思うので、例えば写真でまとめて庁内の掲示板で提示できないか等の工夫を福祉課内で検討中である。そして、その取組が工賃アップにつながると良い。</p> <p>また、昨年の取組状況について、市長・副市長・部長で行われる幹部会議で報告した際に、「とても良い取組であるため、どのような役務や品目があるのか紹介して欲しい」との意見があった。予算要求の時期以外でも、「就労支援事業所へ発注できるのか」との声もあったため、年度途中であっても相談して欲しいとの話をした。</p> <p>ご提案いただいたプレゼンテーション等の取組については、自立支援協議会の就労部会を交えながら、福祉課内で今後検討していきたい。</p>
委 員	<p>次年度予算を検討する時期になると思うので、この機会に一度プレゼンテーション等の機会があるとありがたい。</p>
副 会 長	<p>●No. 1 1（公共的施設の所有者・管理者への助言・指導）について 事前協議申請のあった8件の実績について、整備基準に適用するよう指導・助言を行った結果が、「適合1件、不適合7件」とある。令和6年の4月から合理的配慮の提供が義務化されるわけだが、できる範囲での取組をお願いする民間事業者と異なり公共施設であるため、この不適合の7件に対しては具体的にどのような指導を行ったのか。</p>
事 務 局	<p>担当課に確認した中では、この7件についても、建物の通常の設定基準については当然クリアしている上で、新潟県の福祉のまちづくり条例やその他の規格等の基準に対するとおろで不適合があった、とのこと。</p> <p>しかしその条例等では、基本的に内容を遵守するものと定めながらも、遵守することで建物の景観を損なう場合は適合しなくても良い、等のいくつか但し書きのようなものがあり、その部分にこの7件は該当した、とのこと。よって、この7件についても事業は進んだ様子。</p> <p>福祉まちづくり条例では、建物の管理者や所有者、工事関係者等に、この指導や助言を行うことで、福祉の建築の視点を働きかけるといった目的があるよう。</p>
副 会 長	<p>承知した。</p>

【②に関する質疑等】

委員	<p>●重点目標（５）の①について</p> <p>今年９月より、市内で就労継続支援Ａ型・Ｂ型の事業所を開所させる方向で、現在取締役として関わっている。既に利用希望者が数名いて、実習や見学等で受け入れを始めているのだが、相談支援事業所は忙しいようで、実際に利用の相談をしても受けてくれる事業所がない様子。福祉課へ相談しても、自分たちで各相談支援事業所に依頼するように、とのことだが、依頼しても相談支援事業所には受けられないと言われる状況。サービス利用がしたくても相談支援の利用とセットとなるので、利用の話が入口の段階で止まってしまう。引きこもりのケースであれば特に、時間がかかることで利用のタイミングを逃すこともあり、相談支援体制の拡充を重点的に行って欲しい。</p> <p>基幹相談支援センターの設置について、以前に検討内容を伺った限りでは、困難ケース等に対する情報共有や支援が案として出ていたようだが、それでは現実的にひっ迫しているマンパワーの確保には繋がらないのでは。その案が無意味とは言わないが、より抜本的な取組を行わないと打開できないのではないか。</p> <p>上越市では、数年前より地域包括支援センターが計画相談支援以前の就労希望等の利用者についても事業所見学等の対応をしたり相談に応じたりしている。柏崎市でも同様の取組を行う必要があるか、相談支援のマンパワー不足があるのであれば、他の自治体の情報を収集しながら他の手を借りるような取組を検討していくと良いのでは。そしてゆくゆくは、高齢分野についても一元的に対応できる体制が整備できると良いと考える。</p> <p>もし基幹相談支援センターの検討会に、障がい者活躍推進事業としてジョイントできるのであれば、意見交換をしたい。</p>
事務局	<p>●相談支援体制の拡充について</p> <p>最新の相談支援事業所の状況については、７月１４日の自立支援協議会のサービス調整連絡会議の際に、各事業所と新規相談の受入れについて情報共有を行った。５事業所のうち、現在は手一杯で対応不可と言われたのは２事業所であった。その２事業所についても、最初の相談を半月～１か月程度待ってもらえれば…とのこと。あとは、要相談、声をかけてもらえれば対応可能との返答が２事業所。もう１事業所は、１、２件であれば対応可能とのことだった。</p> <p>各事業所の状況も波があり、手一杯の時期もあれば、相談があれば何とか可能という場合もあるため、進捗についてその都度共有しながら、利用者側が不利益とならないよう市としても対応したいと考えている。</p> <p>●基幹相談支援センターについて</p> <p>昨年度から検討を重ねる中で、課題整理の段階で不十分な点もあったた</p>

	<p>め、柏崎刈羽地域で最も望ましいかたちは何か、改めて検討している。他市の状況を含めて、慎重に確認しながら進めていきたいと考えている。</p>
--	--

【③に関する質疑等】

委 員	<p>少子化が急激に進んでいる状況がある中、第7期の計画ではどのように対策をするのか、それがどこにも見当たらない。どのように考えているのか。</p>
事 務 局	<p>前回の会議でも委員より「今後、社会福祉がより拡充された中でそれを支える分母の部分が少なくなる時代が近づいていること、それを民間・地域・団体が自ら担う意識になり得るか、これからの時代を見据えた立案を要望する」とのご意見を頂戴した。</p> <p>本日の会議では、アンケート結果を説明し、今後どのようなスケジュールで策定を行っていくかについて提示させていただいた。全体的な人口減少に伴い、福祉分野のみならず人材不足・担い手不足が生じることが想定される。しかしサービスの需要自体は一定程度ある場合の打開策について、どの程度の作りこみができるかは現段階で申し上げられないが、次回以降に計画の素案を提示させていただきたい。</p>
委 員	<p>この要望について、(株)ぎょうせいほどの程度承知しているのか。</p>
(株)ぎょうせい	<p>本日は、アンケートで確認できた現状の課題を提示する段階であるため、次回(10月)の会議でその前半部分、例えば重点的にどのような取組を行うのか…そして12月の会議で計画の全体像を提示し詰めていきたいと考える。</p> <p>今後事務局とともに、どのような強化ポイントを作っていくのか打合せていく段階である。</p>
委 員	<p>柏崎市の実情を(株)ぎょうせいほどの程度把握しているのかを聞きたい。</p>
(株)ぎょうせい	<p>人材不足もあり、事業所が疲弊している状況は認識している。アンケート結果からは、柏崎市は横の繋がりが非常に強いとの特徴が見られること、特に柏崎には各相談支局があるので、その部分をいかに活性化していくかということがポイントとなると認識している。</p>
委 員	<p>ここ数年の状況について、例えばマイナンバーカードについて、障がい者の皆さんがどのように捉えているのか、この新しく出てきた社会現象について、どこにも触れられていない。</p> <p>柏崎市は平成17年の合併時には9万人以上だった人口が、現在7万7千人程度となり、出生数も激減しているという状況であり、これが柏崎市の現状である。それを全国的な平均的なかたちで捉えられて、全国的な内容で第7期の計画を作成されても、柏崎市の置かれている状況に対応する計画にはなり得ないと考える。そのことについて、(株)ぎょうせいとして、どのようにお考えか。</p>

(株)ぎょうせい	柏崎市の状況を十分に踏まえて、今後計画策定をしていきたいと考えている。
事務局	<p>人口減少や少子高齢化は、柏崎市だけでなく全国的な問題であるが、そのスピードについてはその地域で変わってくる場所である。(株)ぎょうせいとして、柏崎市がどれほどのスピードで減少しているのか、出生数の落ち込みについても当然認識している。</p> <p>(株)ぎょうせいは、前回の障がい者の計画を作成し、その他にも地域福祉計画や高齢者の計画についても一体的に作成していただいている。その認識と視点に関しては、障がいに特化するのではなく、広い視野で計画策定に関わっていただいていると認識しており、福祉課だけでなく介護高齢課も含め、互いに情報を共有し検討を進めている現段階で、柏崎市と(株)ぎょうせいとの認識にズレは生じていない。</p>
委員	<p>事業を発注する場合は、発注者である柏崎市が現状を示し、これまでの継続ではなくてどのように対応すべきかを予め提示するのがルールなのではないか。今、話を聞く限りでは、(株)ぎょうせいは「これから詰めていく」と言う。これは最初の発注の段階で、仕様書として、指示書として市が提示していないということではないのか。</p> <p>いくら障がい者の皆さんにアンケートで聴き取りを行っても、もうそれだけで完結していける状況ではない。地域そのものを維持できるかどうか、厳しい地域があるのが現状である。これまでの現行通りの計画でなく、その実態に応じた計画をどのように考えるのか・障がい者だけでなく、あらゆる人が担い手となり支えていかないと対応しきれないということ为前提に、どのような計画を策定していくのか発注者が最初に指示書を出すということが市役所としての仕事ではないかと考える。</p>
事務局	<p>様々な考え方があるかと思うが、懸念されている現状については、ここにお集まりの皆さんも同じような意見をお持ちなのだろうと思われる。</p> <p>(株)ぎょうせいは、全国規模の組織であり、全国的な流れや状況も十分把握されている組織である。皆さんが懸念しているところを、今後の柏崎市の計画にどのように落とし込んでいくかについて、発注前に示すということが委員のご意見なのだと思いますが、柏崎市としては、それは打合せを重ねる中で柏崎市の色を出していくという考えで進んでおり、その中には、本日お集まりの委員の皆さんの意見も反映させていくものと考えている。順番の問題はあるかと思うが、この会議を開く前に柏崎市が独断で計画の内容を示すということではなく、委員の皆さんの意見も頂戴した中で、柏崎市としてどのような計画を策定していくか、まさに皆で考えていこうという段階、そういうことで理解いただきたい。</p>
委員	承知した。希望としては、会議にお集まりの皆さんのお力を借りながら、そして市役所の若手職員の力を借りて、手作りで第7期の計画を作るくらいの意気込みを持ってもらいたい。
委員	今回のアンケートには、発達障がいのトピックがなかったのが少し残念

	<p>だったのだが、「いなほの会」では、できるだけ本人にアンケートの回答をさせるようにしている。すると、例えば「災害時に困ること」という問いに「電気をどこで充電するのか」という回答をする・・・つまり、アンケートの質問に沿った回答を発達障がい者は出してくれない、ということ。今後、アンケート調査を行う場合は発達障がいの特性にも配慮した、工夫したアンケートを用意していただいたほうが良いと考える。</p> <p>また、胎内市の共生型拠点福祉施設の見学に行ってきたのだが、そこは高齢者と障がい者が一緒に住むという居住施設だった。建物も立派で、近くに市役所があるという立地。胎内市は、人口減少があるからこそ、様々な施設を市役所の近くにまとめてコンパクトにした、とのこと。</p> <p>今後は、柏崎市も施設をあちらこちらに設置するのではなく、近くにまとめて、高齢者と障がい者が一緒に住むようなものも設置できるのでは。お金もかかるかと思うし、市民や一般の方の意見も様々で、どうしたら良いかわからない時代かと思うが、柏崎市も小さなまちであるから、コンパクトにしていくという方向性を持っていけたらと考える。</p>
会 長	<p>今期の計画のふり返りを基に、柏崎市の現状を踏まえた上での実現可能な計画について、様々な意見をいただいた。アンケート方法についても、障がいをお持ちの方の生の声を拾えるような工夫をしていくということ、今後の対応に活かせるようお願いしたい。</p> <p>本会議は計画策定について話し合える場であることから、委員の皆さんから提案や意見をいただき、より良い計画を策定していけると良い。</p>
委 員	<p>この場には視覚障がい者が入っていないのだが、視覚障がい者の意見も反映できるようにしたい。知り合いに視覚障がいの方がいるのだが、その人は目が開いているものだから、障がい者であると周りから認識してもらえない、とのこと。図書館で本が読みたくても読めないようで、何か代読者をつけてもらうとか、何か視覚障がい者に対しても支援をしてもらえると思うところだった。</p>
事 務 局	<p>アンケートの対象者については、無作為抽出となっているため、視覚障がい者も含まれている。回答が戻ってきているとすれば、家族等に代筆いただいたものかもしれないが、550件配布のうち、48%の回答率、その中に視覚障がい者がどの程度含まれているかは現段階では確認できていないが、集計していきたい。</p> <p>また、視覚障がい者については、市のほうで便利な道具を用意しており、全額ではないが購入の補助もある。聴覚障がい者には補聴器、視覚障がい者には眼鏡、等。眼鏡をかけても見えない方については、本を置くと読み上げてくれるという読書機もある。そのような機械があり、補助があることを伝えていただけると良い。</p>
委 員	<p>喜ぶと思う、伝えていきたい。</p>

【④に関する質疑等】

特になし

【その他】

事務局

資料8については、障がい福祉計画・障がい児福祉計画を策定するに当たっての基本的指針を厚生労働省が示したものである。その改正内容について、国がまとめた概要であるため、ご確認いただきたい。
柏崎市は事業所数が多く、そしてバランス良く整っているのが魅力だと考えている。新たに開設したいとの相談も受けているため、柏崎市の事業所事情等を踏まえ、数字についても検討していきたい。

以上